

塾生から区民へのひとことメッセージ

さまざまな学びと発見を基に、報告会では、グループごとにテーマに沿った報告を発表した塾生の皆さん。西京塾での活動を通じて最後に「これはぜひ伝えたい！」という「ひとこと」を集めました。(敬称略)



A グループ

塾生の一人として色々と勉強させていただき、充実した時間を持つことができました。

毎回、貴重なお話をお聞きし、またたくさんの方々とお知り合いになれましたこと、すべて私の宝物となりました。ありがとうございました。

上羽実知代

環境問題に関心を持っている者として、地域で何ができるかと考えているとき、西京塾生になれました。塾生の皆さんが環境問題解決のため、今行動しなければという、熱意に圧倒されながらも、楽しく学習できました。

川村 清

西京塾で見学させていただいた、ごみに関する諸施設で京都市のごみの多さに驚きました。市民一人一人が少しずつむだをなくす心がけが、とても大切だと痛感致しました。「もったいない」の精神を広げていきましょう。

齋藤はるみ

マイバックを持参する。省包装製品を買い、詰替え商品を選ぶ。余分な買物をしない。リサイクルできるものはする。など……

環境問題を考えながら、普段無理なくできることを、徹底していきたいと思います。

清水孝子

豊かな水と緑に恵まれた西京区。でも、何の努力なしでは水は汚染、木は枯れてしまいます。環境保全に関心を持ち、できることを努力していただければ、自然は美しく、共生するでしょう。みんなで、素晴らしい西京区を創っていきませんか。

高島栄美子

日々何気なくポイポイと捨てているごみの処理にかかる税金が、1年間で224億円使われていることにびっくりしました。私達の税金を大切に使うためにも、意識してごみ減量に心がけたいと思います。

坪倉光子

「アイトワ」を見学したことから、何事も続けることによって、自分のやりたいことや課題を見つけることができ、前に進んでいけるのではないかと感じました。

中山 塁

「環境」と一口に言っても、自然環境、ごみ問題、エネルギー問題など広義で、その重みをしっかりと学ぶことができました。一人の力はちっぽけですが、しかし、最初の始まりは一人一人の自覚と行動が大切です。

村上梨恵子

環境問題は、地球全体のことから身近な暮らしのことまで色々あります。一人一人ができることをまずは、やってみることが大切！「もったいない」の気持ちで物を大切に使い、ごみを出さない工夫をし、実行しましょう。

芦田美奈子

最近マナーを守らない人が増えてきました。電車やバスの中で化粧する人、飲食する人。給食費を払わない親。自由の意味を勝手気ままと履き違えています。ごみの出し方にしてもしかり。マナー遵守の大切さを思い起こしましょう。

上田雅子

グループ活動や施設見学を通して、環境問題について考えることができました。特に、ごみの減量については、地球温暖化防止と関連する課題であり、一人一人が真剣に取り組んでいかななくてはならないと思いました。

田中一恵

色々勉強していく中で、人間が一番優秀な生ごみ処理機だということに気付きました。

皆さん、作りすぎや食べ残しはやめましょう！作った料理や買った食材は、責任を持って自分達のお腹で処分しましょう！

中島京子

昭和43年、世帯を持ち新生活を始めた頃は買い物かごを持って買物に行きました。いつの間にかビニール袋に取って変わっていました。古き良き時代を懐かしんでばかりはられません。マイバックを合言葉にできることから実行。

名倉佐恵子

ごみ減量について、グループで小売店に聞き取り調査をしました。どこも種々の取組をされていて環境問題への意識が高いと感じました。

地球温暖化が話題になる今、次世代のためにも主婦として工夫努力しようと思います。

藤井富美江

今回私達が、環境についての中でごみ減量に向けての勉強をさせていただき、色々なことが深く分かりました。もっともっと消費者が区民の一員として関心を持たなければいけないと思います。生ごみの出し方、バック等の出し方の工夫を。

別府文子

ただただ、与えられて守られて生きている。私達は環境に対してそんな態度ではないでしょうか。私達は、ピーカーの中で水が湯に変わっても気付かないカエルではありません。そろそろ私達から環境に恩返しを。

吉田健人

未来の暮らしを考え、一番問題の生ごみ、野菜の皮もいただき、わが家の片隅に、たい肥を始め、トレーはスーパーに、牛乳はびん引取りでお店に返しています。買物袋持参。古着は、布遊びに、楽しく、再利用しています。

和久田康子



「環境に配慮したまちづくりを考えよう」がテーマの塾生になり、東部山間埋立処分地、南部資源リサイクルセンター他等々を見学し、私達の日常生活の中で、やさしい環境作りを心がけ一人一人が関心を持つよう声かけをしていきたいと思います。まず私自身が真剣に取り組みきれいな水、空気、自然が戻るよう努力したいと思います。

河合順子

私は今回大変興味を持って参加させていただきました。京都市の環境施策事業の見学を通じ、今の環境を守っていくには私達それぞれが、環境に配慮した生活を少しでも実践していくことが大切だと改めて感じました。

鈴木 綾

私達の住む西京区は美しい西山の景観や竹林がありますが、同時に山にごみが捨てられていることも多々見られます。美しい自然がだいなしです。ごみの落ちていない自然の美しいまちづくりを目指しましょう。

中村博起

家の雨戸の使い方について。

嵐や台風するとき、夜には雨戸を閉めることは、一般的ですが、夏の日差しの遮断にも役立つことをご存知でしょうか？少し室内は暗くなりますが、すだれと併用すれば効果が上がりますよ。

久村典子

誰もがすぐできること、それは「マイバッグ運動」です。家の中で眠っているレジ袋を活用すれば簡単です。年間レジ袋は300億枚以上使用されているとのこと。小さなことでも皆で取り組めば大きな力となります。

福島慧子

資源ごみ袋の中にガスボンベが入っているのをよく見かけます。キャップも、ラベルもとらないペットボトルがほとんどです。循環型社会、脱温暖化、CO₂の発生を抑えるのは、人類のため地球上の生物への思いやりだと思います。

菱田淑子

地球のためにしなければ、と思わず気軽に取り組みばいいと思えます。廃食用油からの石けん作りが趣味でもエコ活動できるので、石けんを作る会などをしていけばいいのではないのでしょうか。

山本絢美

